

2024年度
Tongali参加機関学生起業意識調査報告書
藤田医科大学

目次

次項以降左上に記載されているマークは、各質問に対する回答方法を示しています。

単 = 単一回答

複 = 複数回答

自由回答 = 自由回答

新 = 2024年度新規追加質問

Q1 所属学部・研究科

Q2 学年

Q3 性別

Q4 アントレプレナー的コンピテンシー

Q5 卒業後に希望する働き方

Q6 未経験の事柄に対する主体的/積極的な取り組み
への好意度

Q7 将来の起業意思

Q8 起業に対するイメージ

Q9 起業に対するイメージ（自由回答）

Q10 起業をイメージしたときに浮かぶ対象

Q11 起業をイメージしたときに浮かぶ対象（自由回答）

Q12 周囲の起業に対する好意度

Q13 周囲の起業家の有無

Q14 周囲の起業家

Q15 アントレプレナー教育の履修・受講経験

Q16 受講したことのあるアントレプレナーシップ教育の
形態

Q17 最後に受講されたアントレプレナーシップ教育の
形態

Q18 最後にアントレプレナーシップ教育を受講した時期

Q19 Tongaliの知名度

Q20 Tongali参画大学であることに対する知名度

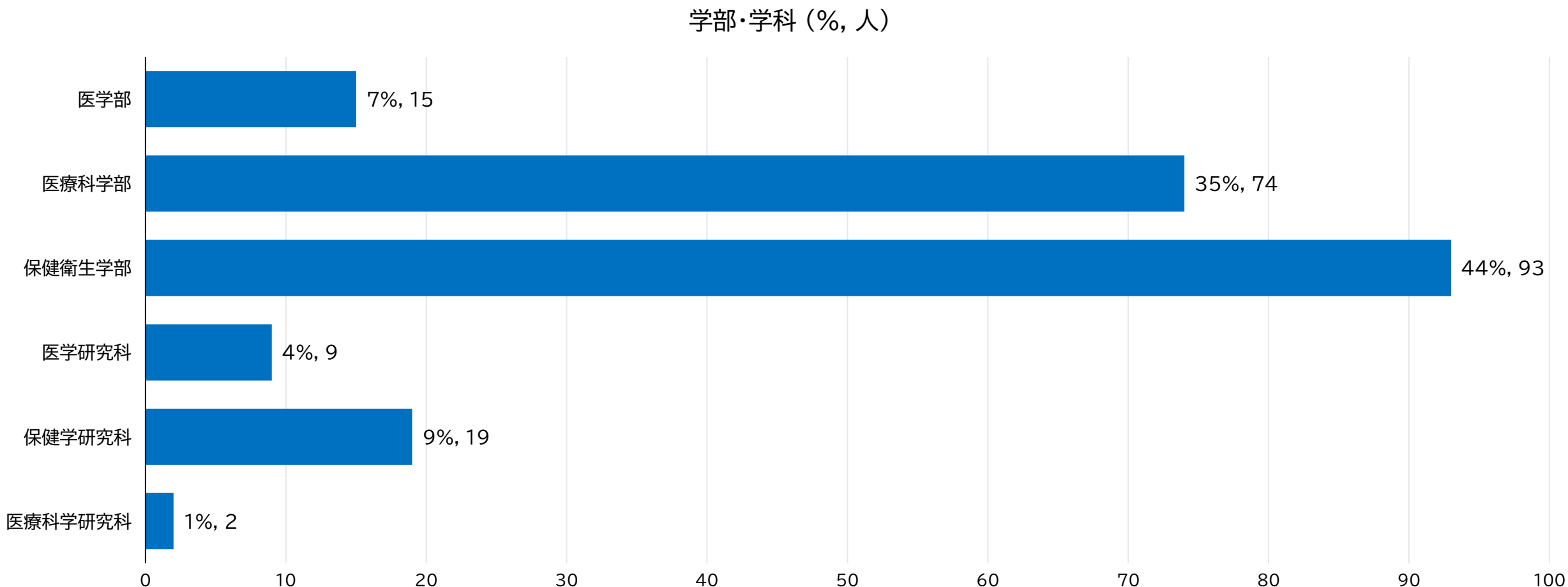
Q21 Tongali提供イベント・セミナーへの参加または検
討状況

Q22 Tongali提供起業支援メニューをみた感想

Q1 あなたの所属学部・研究科を選択してください。

単

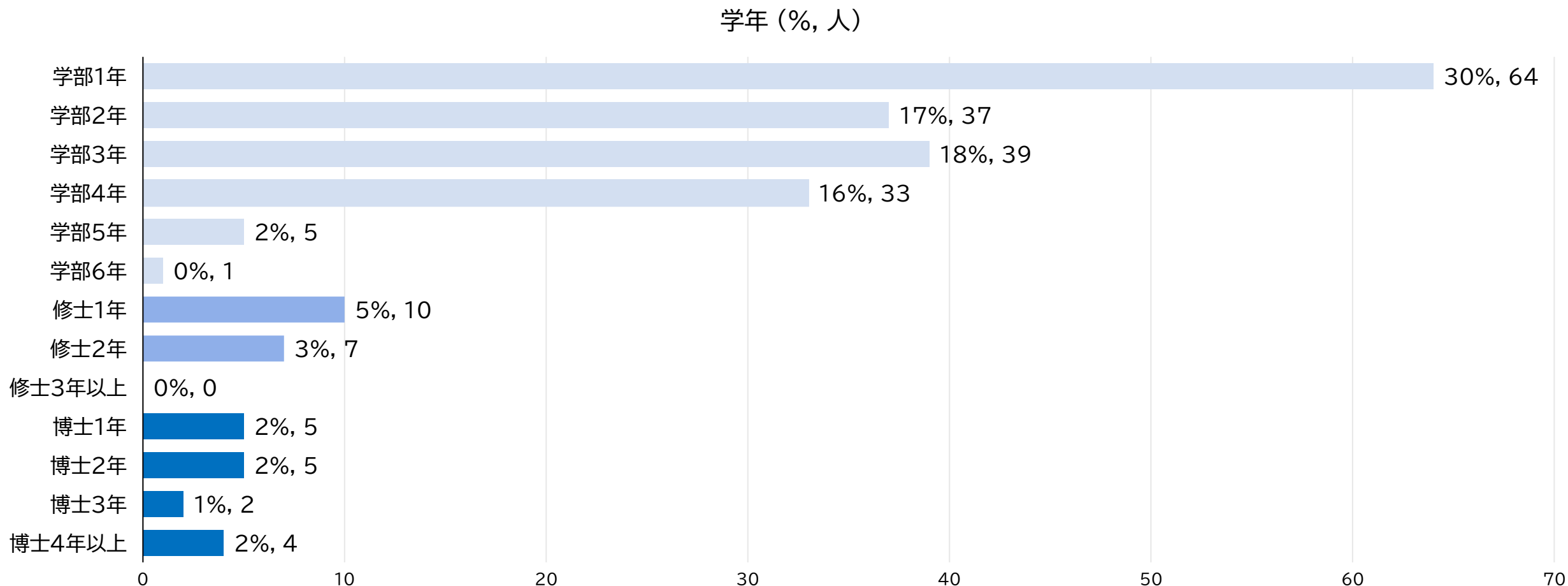
- 回答者総数は212名であった。以降特別な記載がない限り $n = 212$ である。
- 最多回答は「保健衛生学部」93名(44%)であった。



Q2 あなたの学年を選択してください。

単

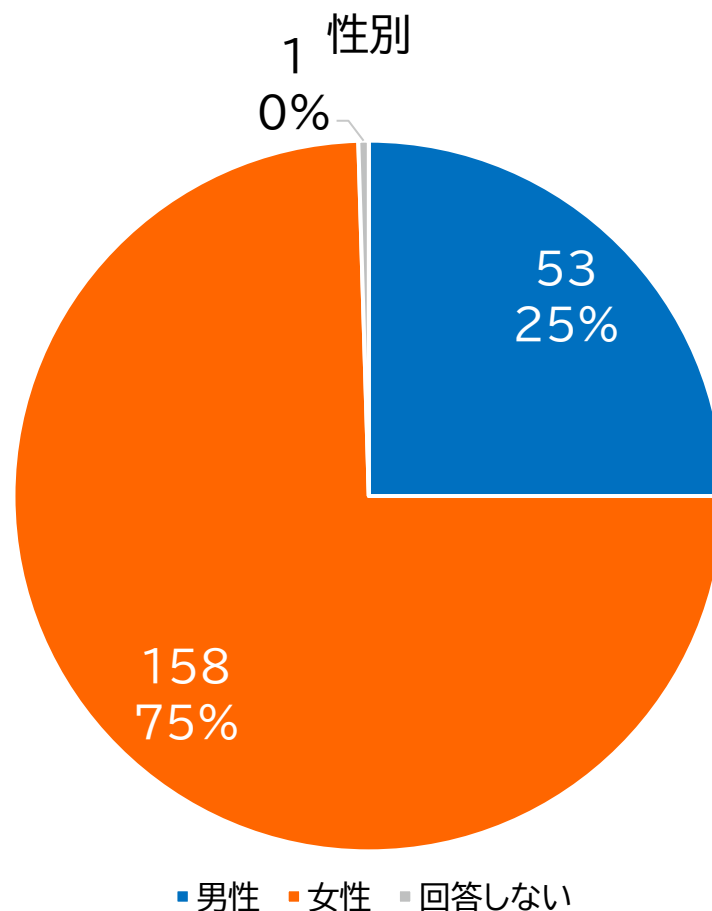
- 最多回答は「学部1年」64名(30%)であった。
- 学部、修士、博士課程からそれぞれ回答が得られた。



Q3 あなたの性別を選択してください。

単

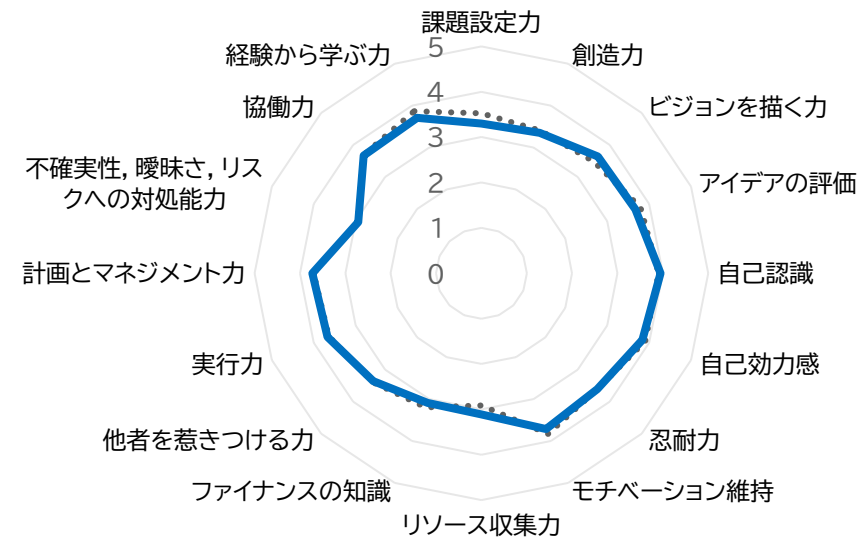
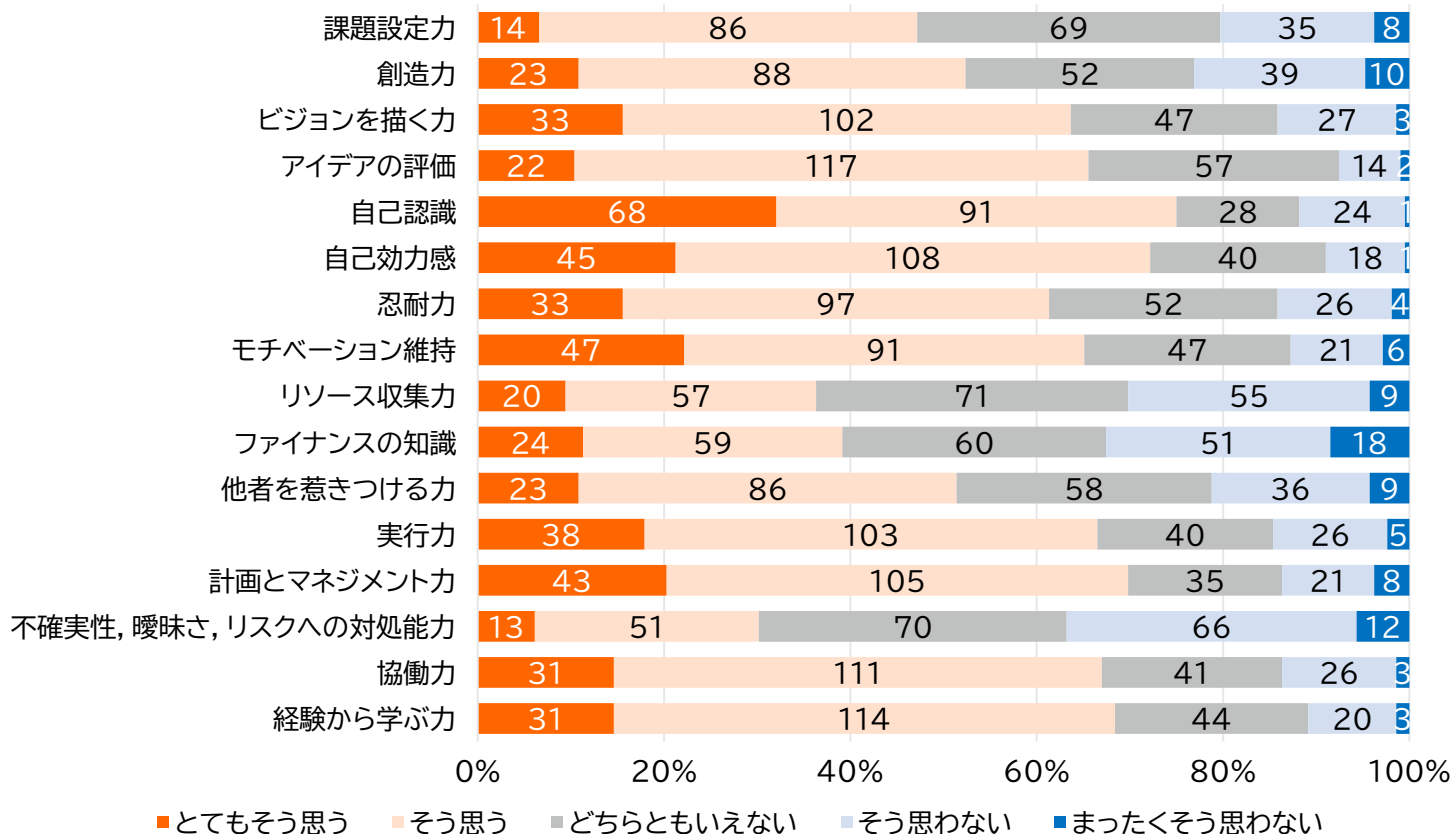
- 「女性」が158名(75%)であり、男性よりも多かった。



Q4 アントレプレナー的コンピテンシー

- 平均得点が最も高かったのは「自己認識」(4.0)であった。
- 平均得点が最も低かったのは「不確実性、曖昧さ、リスクへの対処能力」(2.9)であった。

アントレプレナー的コンピテンシー



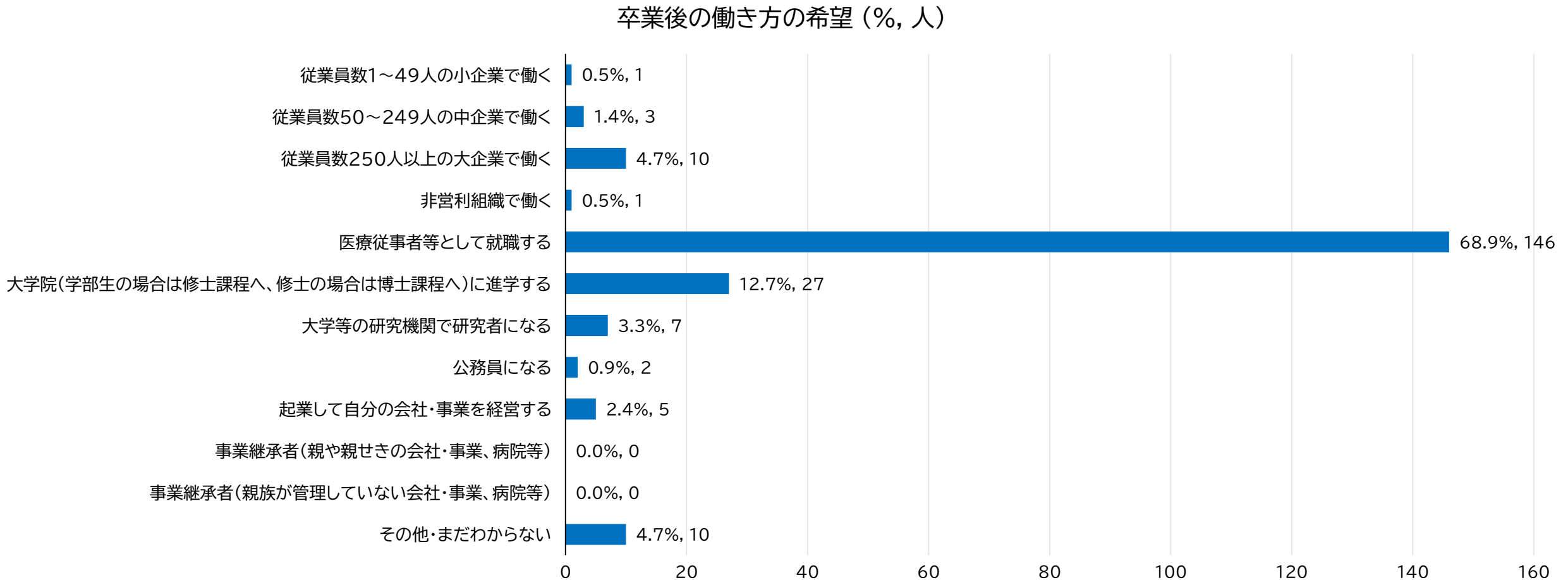
藤田医科大学

全大学平均

※得点が高いほど回答者が自身の能力を高く評価したことを意味している。

Q5 あなたは、卒業直後、どのような働き方を希望しますか。(単一選択)

- 最多回答は「医療従事者として就職する」146名(69%)であった。
- 「起業」することを希望したのは5名(2%)であった。



Q5 あなたは、卒業直後、どのような働き方を希望しますか。(単一選択) 単

■「その他」について自由回答は5件得られた。

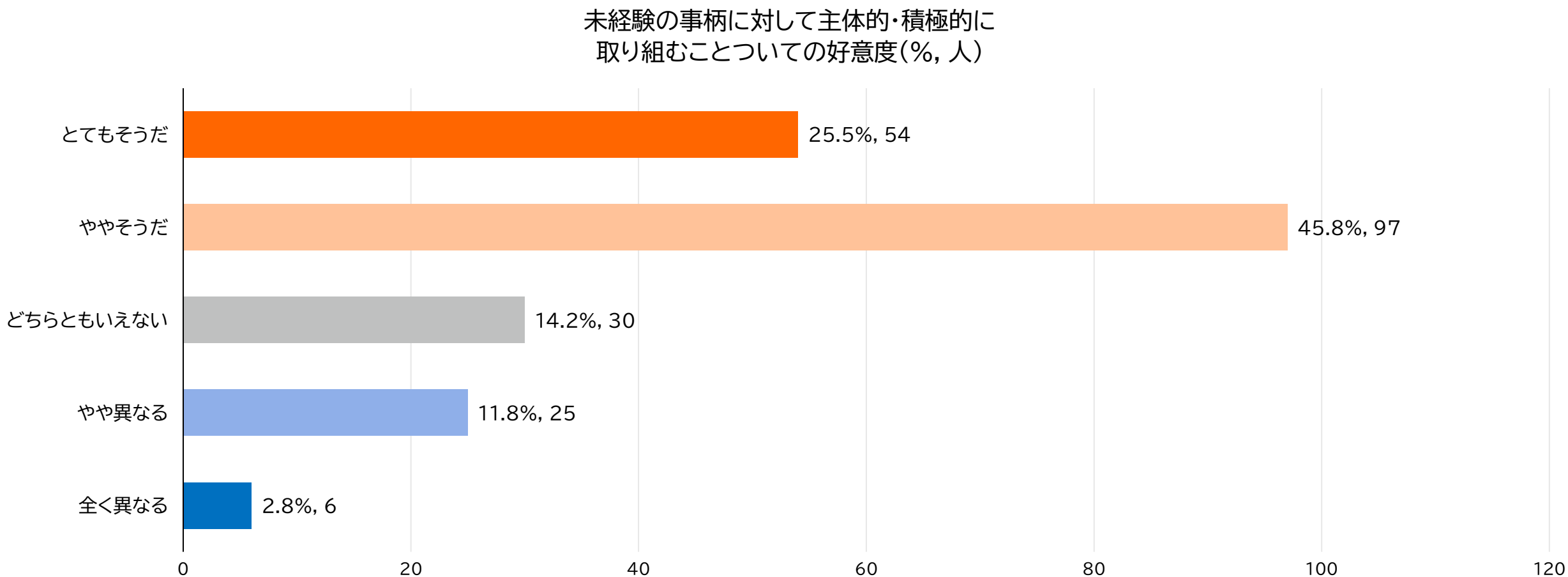
1. 起業したいという思いはあるが、リスクも大きいと思うため在学中に学んでいきたい。
2. 日本で勤務年数を重ねて、医療従事者として海外で勤務。
3. もう一つ免許を取る
4. 社会人履修生のため続行
5. 国際的な面のある場で、できるならば医療を生かした活動をしてみたい。

Q6 あなたは、これまでに経験したことがない新たな事柄に対して、主体的又は積極的に取り組むことに好意的ですか。

新

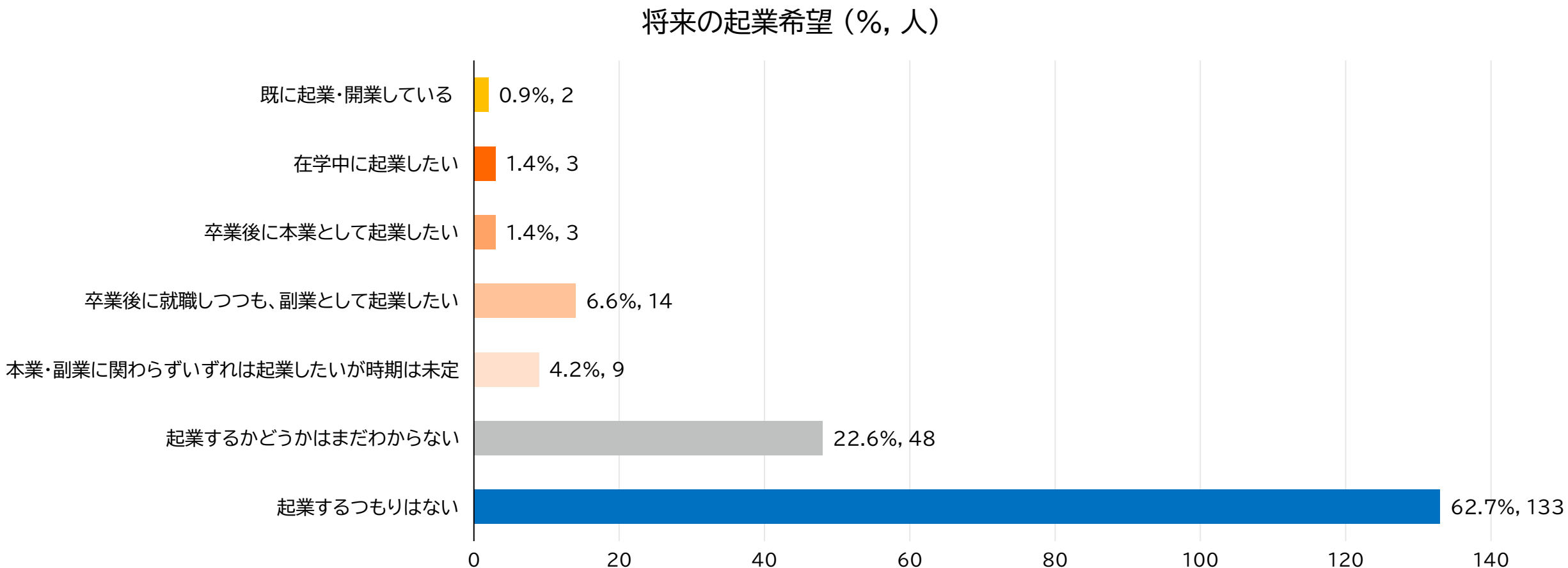
単

■ 肯定的な回答が151名(71%)であり、過半数であった。



Q7 あなたは、将来起業したいと思いますか。 (以下、ここでは、法人の設立や個人事業主としての開業も「起業」に含みます。)

- 「起業するつもりはない」は133名(63%)であり、過半数であった。
- 将来「起業したい」は29名(14%)であった。

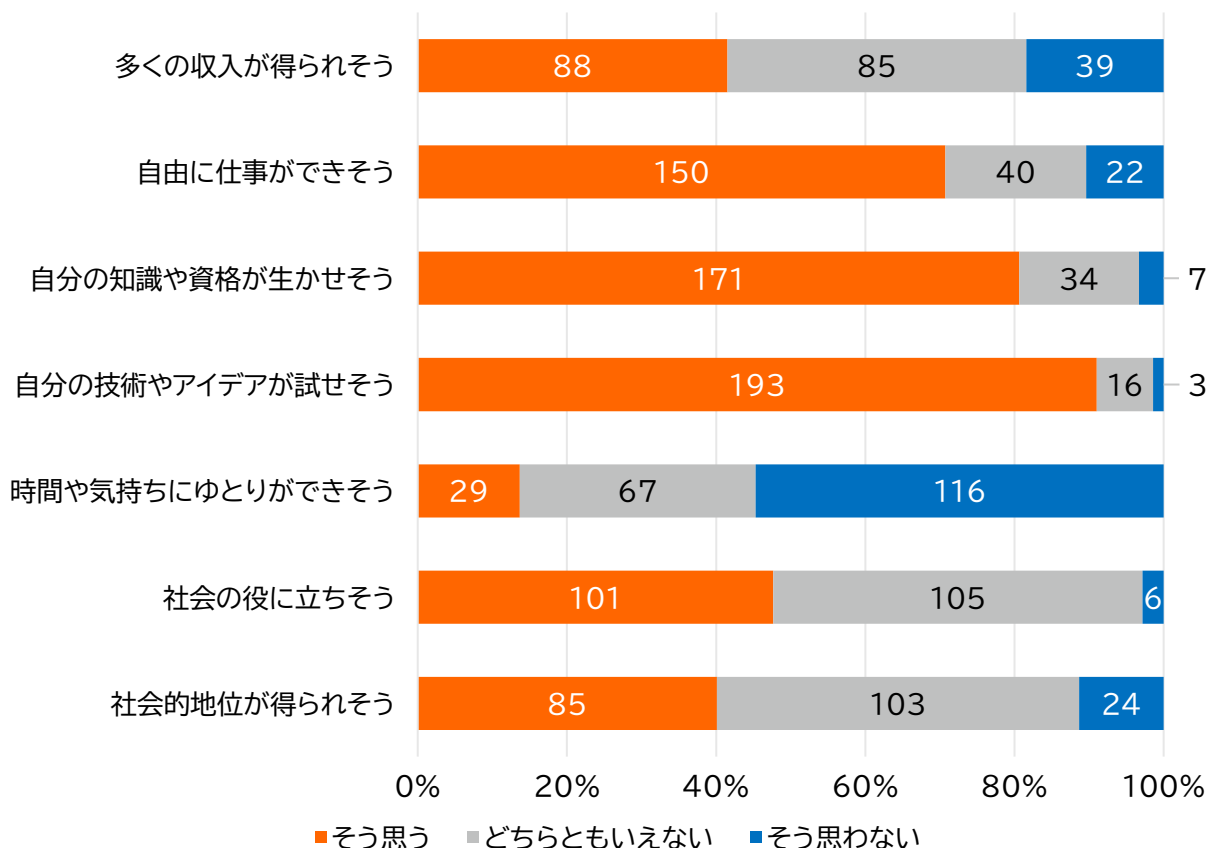


Q8 あなたは「起業」に対してどのようなイメージをもっていますか。

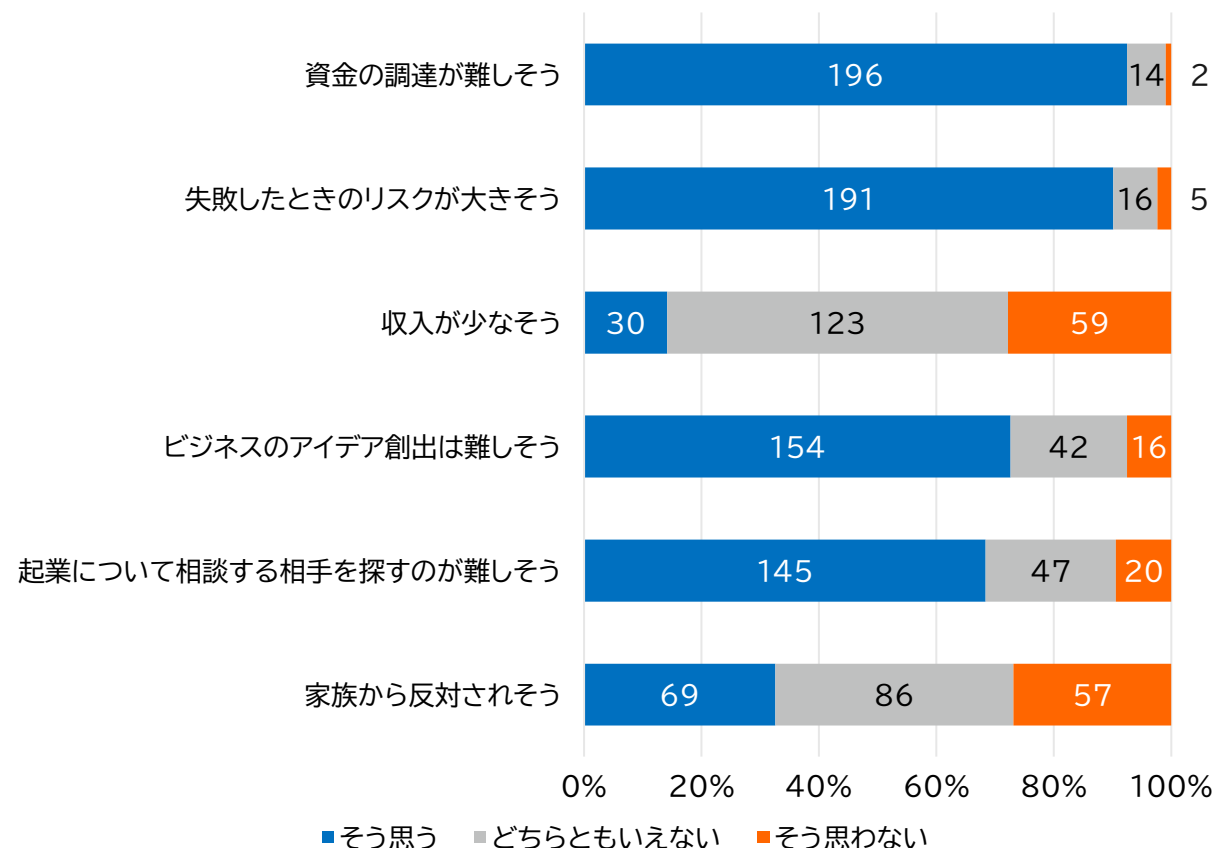
単

- ポジティブなイメージの最多回答は「自分の技術やアイデアが試せそう」であった。
- ネガティブなイメージの最多回答は「資金の調達が難しそう」であった。

起業イメージ(ポジティブ)



起業イメージ(ネガティブ)



Q9 上記以外の起業イメージがあれば、具体的に記載ください。

自由回答

■ 自由回答は33件得られた。

1. 不安定
2. 自己実現できそう。
3. リスクが大きいいため、志の高い人だけができるもの
4. 「自ら行動する力」が求められそうだというイメージがあります。
5. 人を動かす人間性が試される行動。
6. 法律が難しそう
7. とくになし
8. 意識高い人が目標にしているイメージ
9. 特になし
10. 頭がいい
11. ベンチャー起業では、生存率はかなり低いと聞いた。(1割ほど)
12. 信頼のおける人たちと協力しないと難しそう。
13. リーダーシップが大切
14. 起業は特別なことではない。
15. うまいいかなかったら損害が大きそう 好きな人を集めて仕事ができたら楽しそう
16. 成功者が少なそう
17. ぼんやりとしたイメージはあれど、具体的に何をしたら「起業」という形になるのかはよくわかっていない未知の領域だなと思った。
18. 同志社大学や早稲田大学の学生が小さい会社を起業してそう。
19. アイデアに富み、優れた人物がしているように感じる
20. 病院職員は副業が禁止されているため、アイデアがあっても起業できない。また、書類手続きが煩雑そうなイメージがある。

Q9 上記以外の起業イメージがあれば、具体的に記載ください。

自由回答

■ 自由回答は33件得られた。

21.軌道に乗るまでが大変

22.成功するまでが長そう

23.特にありません。

24.成功するのは一定数だと思う。

25.なし

26.責任の重さ、思い描いていたことの実現、現実とのギャップがありそう

27.事業が成功することの方が少なそう

28.I would love to start business, only as a side job.

29.強い意志が必要そう

30.医療系はなぜか副業禁止なので、副業収入がある程度得られたら、株式会社を作り株主になり配当として収入を得たい。

31.特にありません。

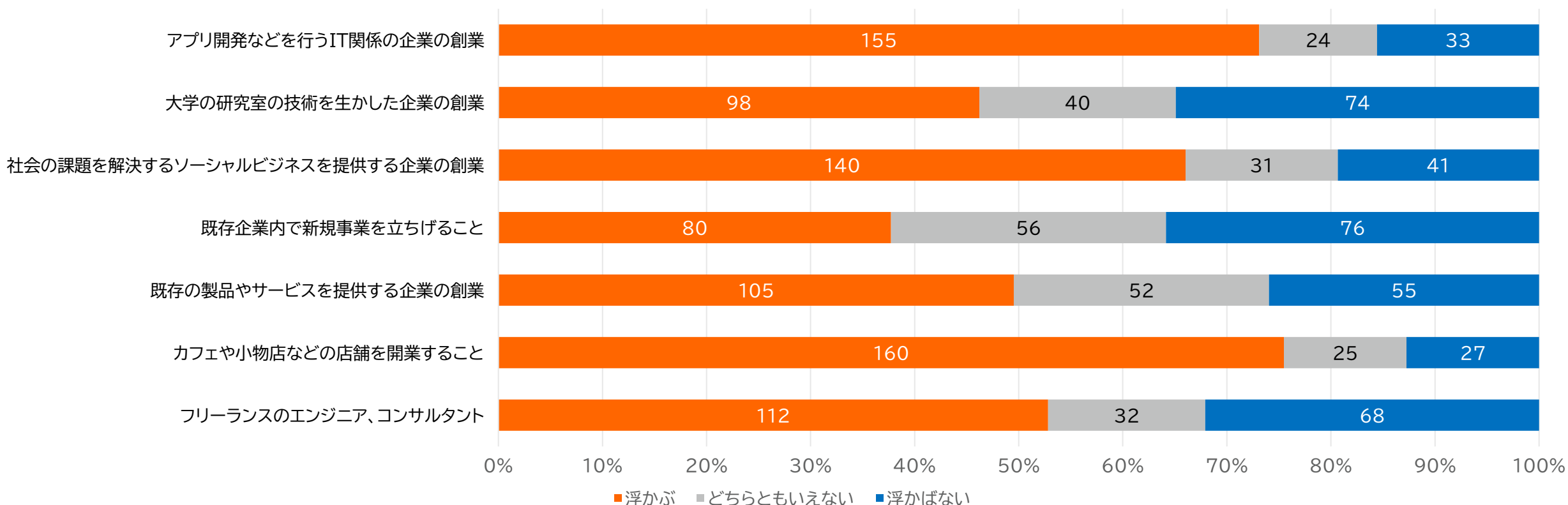
32.特になし

33.頭よさそう 社会的・国際的な知見を深めることが最重要のように感じる

Q10 あなたは「起業」という言葉をイメージしたとき、 次の項目はあなたの「起業」の対象として浮かびますか。

- 「浮かぶ」という回答が最も多かったのは「カフェや小物店などの店舗」であった。
- 「浮かばない」が最も多かったのは「既存企業内での新規事業の立ち上げ」であった。

「起業」という言葉をイメージしたとき、「起業」の対象として浮かぶか



Q11 上記以外で「起業」という言葉のイメージがあれば具体的に記載ください。

自由回答

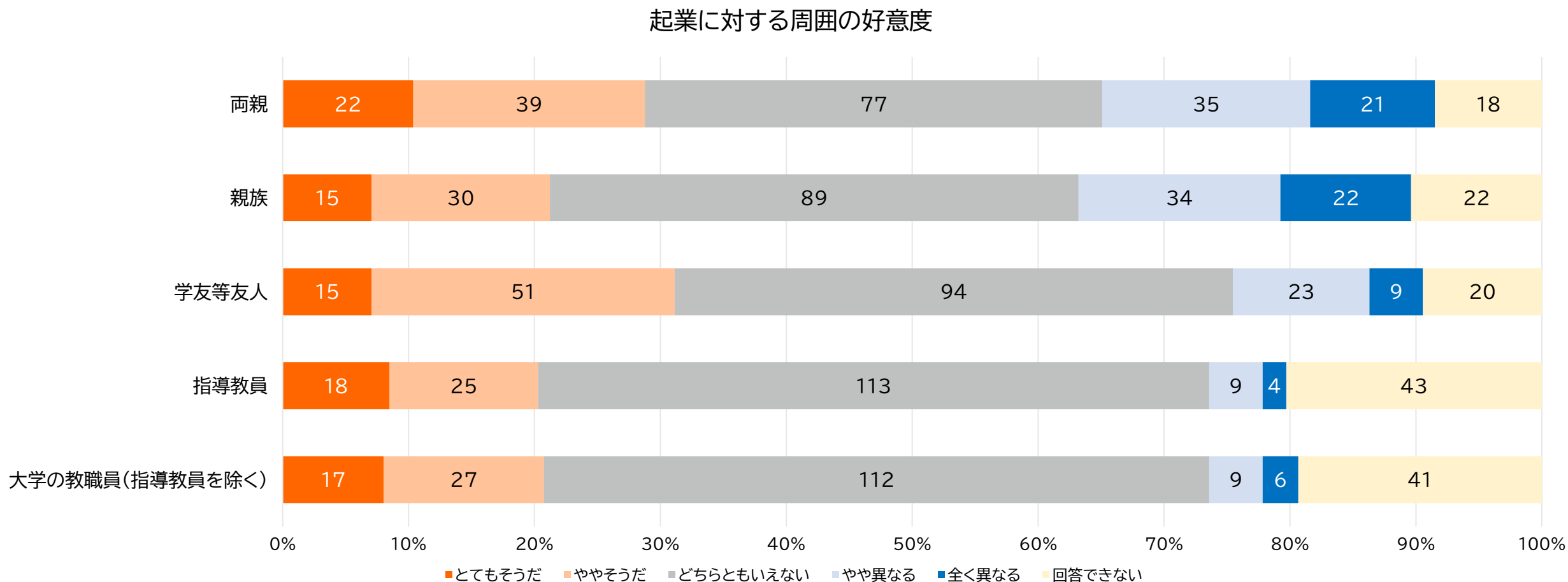
■ 自由回答は22件得られた。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. 賢い人がやるイメージ | 10. なし |
| 2. 病院運営 | 11. 隙間産業、画期的 |
| 3. 新規性のあるものでないと起業はできないように思います | 12. ハードルが高く、成功までの道のりが困難なもの |
| 4. 現存していない、新しいことを始めるというイメージ | 13. なし |
| 5. 世間では、成功するまでに頑張っているのにも関わらず、成功した後だけしかフォーカスされない。結果も大事だが、もっと過程にフォーカスすべき。 | 14. 特にありません。 |
| 6. 新しいものを開発する | 15. ブランドを立ち上げる。 |
| 7. 特になし | 16. なし |
| 8. 特になし | 17. 自由と責任 |
| 9. M&A | 18. 病院やクリニック |
| | 19. インフルエンサー |
| | 20. 特にありません。 |
| | 21. 独立開業など |
| | 22. 高収入 株 |

Q12 あなたの周囲は起業に対して、好意的ですか。

単

- 肯定的な回答が最も多かったのは「学友等友人」であった。
- 否定的な回答が最も多かったのは「両親」「親族」であった。

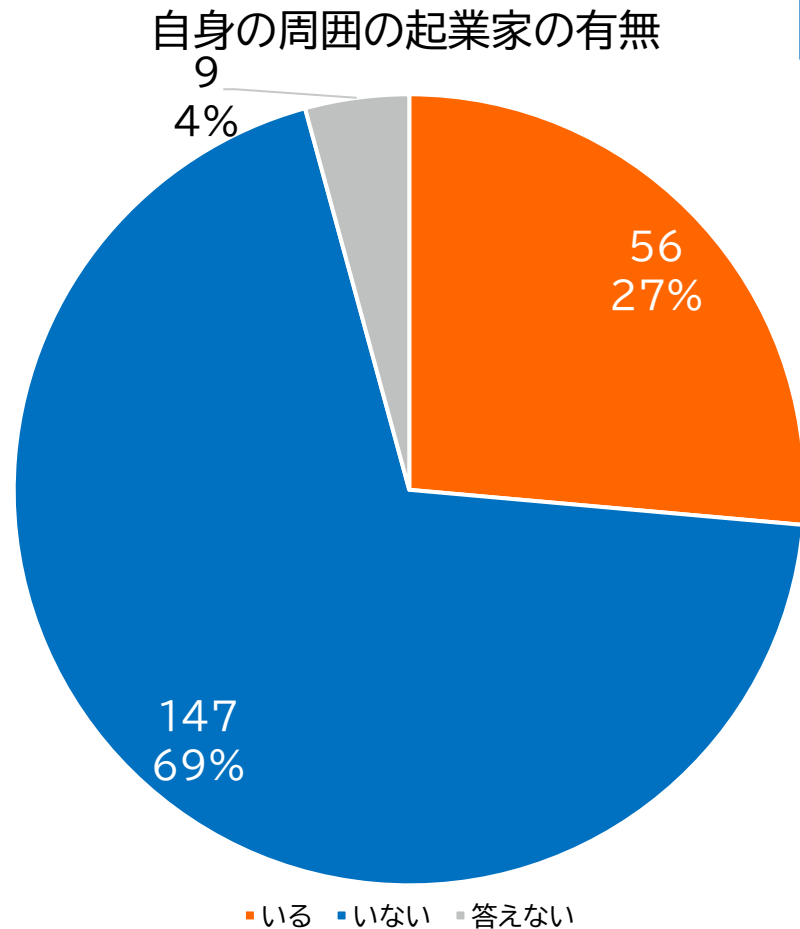


Q13 あなたの家族・親戚、知人友人など、周囲に起業家はいますか。

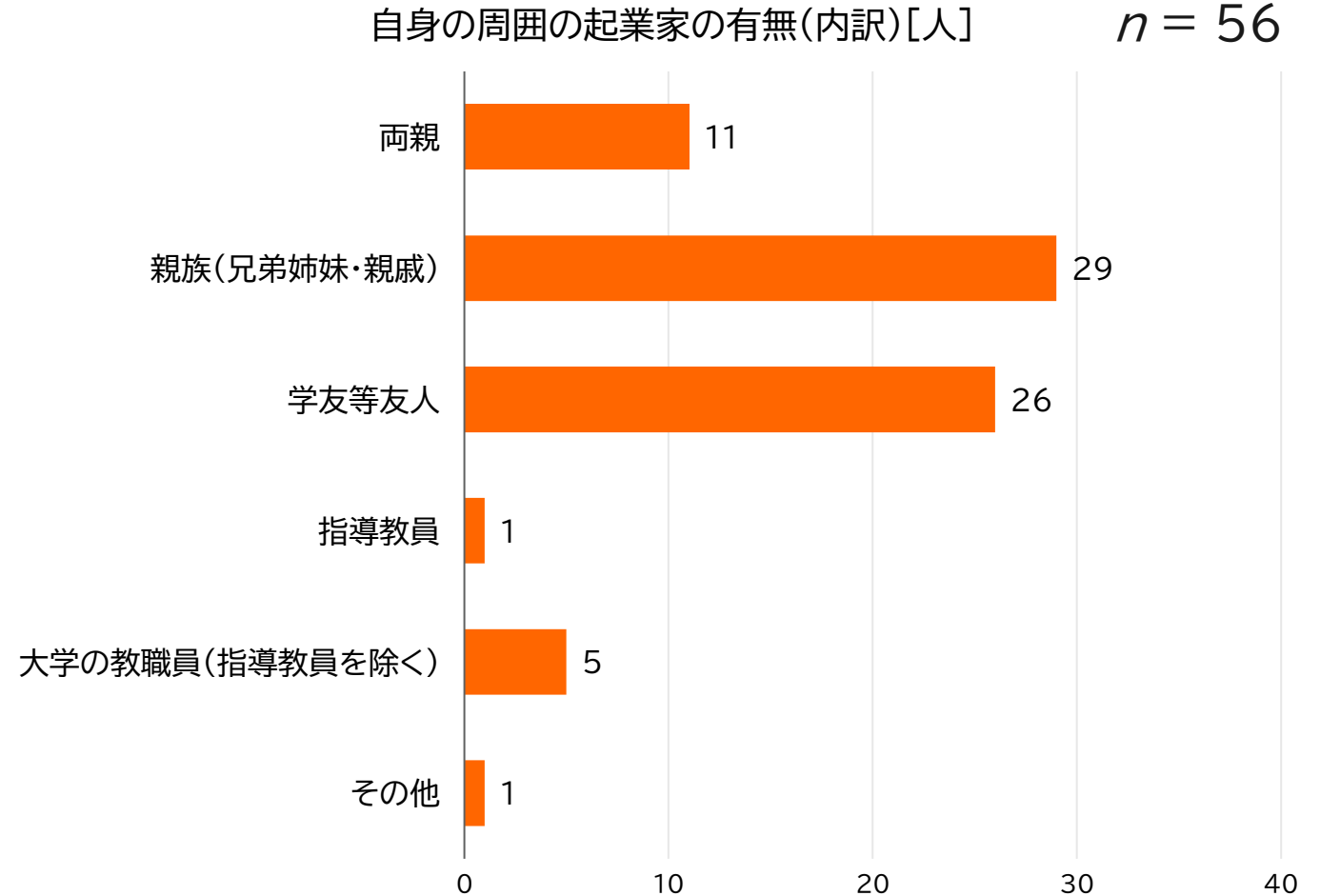
複

- 周囲に起業家が「いる」と回答したのは56名(27%)であった。
- 内訳で最も多かったのは「親族(兄弟姉妹・親戚)」であった。

単



複

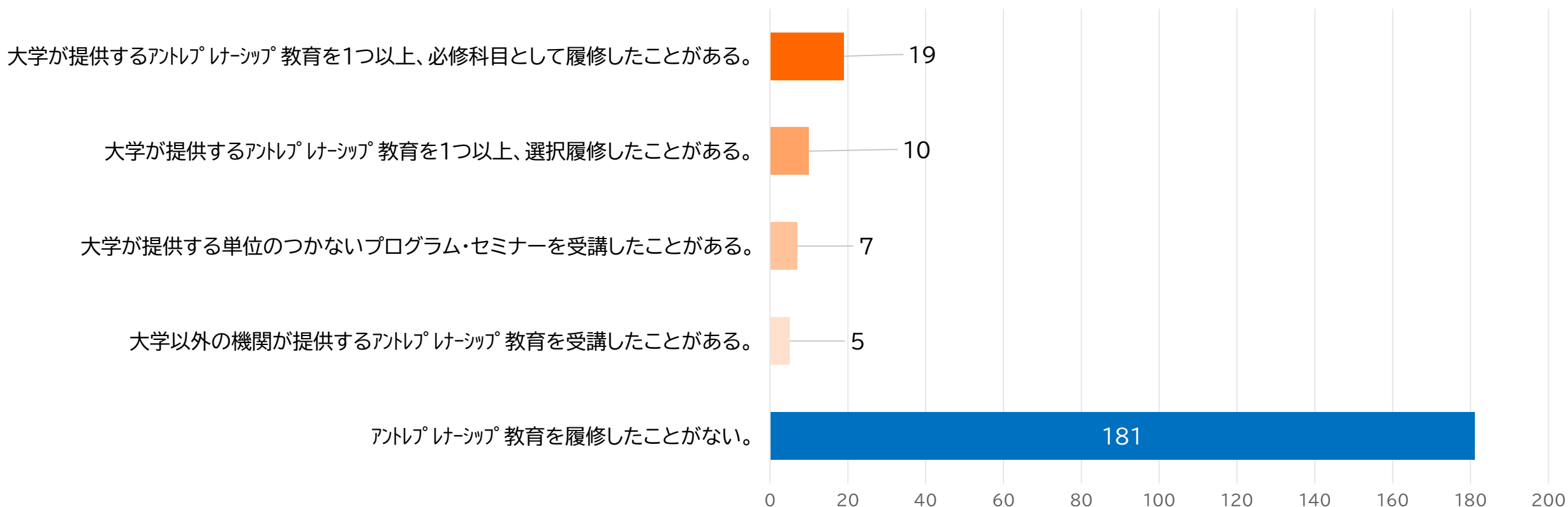


Q15 大学で提供されている起業に関する科目を履修したことがありますか。

複

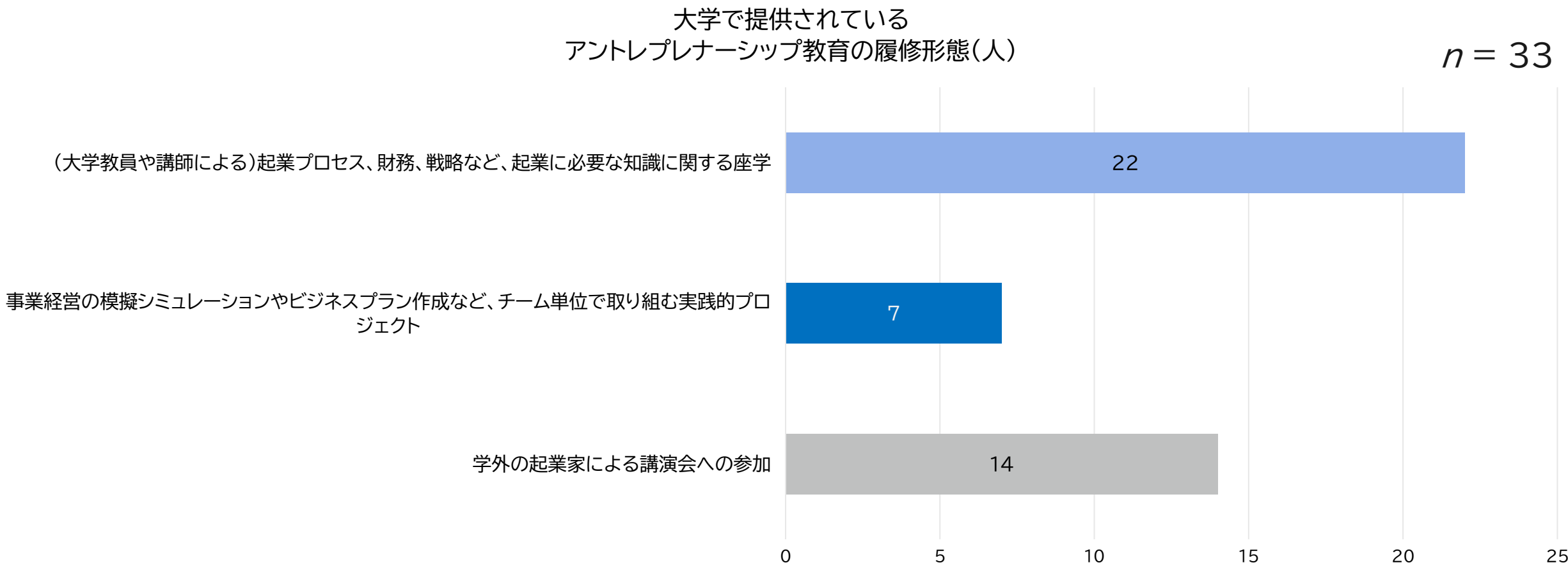
- 何らかのアントレプレナーシップ教育を受講したのは31名であった。
 - 次頁以降の回答者数は33名であったため、2名が誤って「履修したことがない」を選択した可能性がある。
- 受講者が最も受講したのは「大学が提供する必修科目」であった。

大学等で提供されている
アントレプレナーシップ教育の履修経験(人)



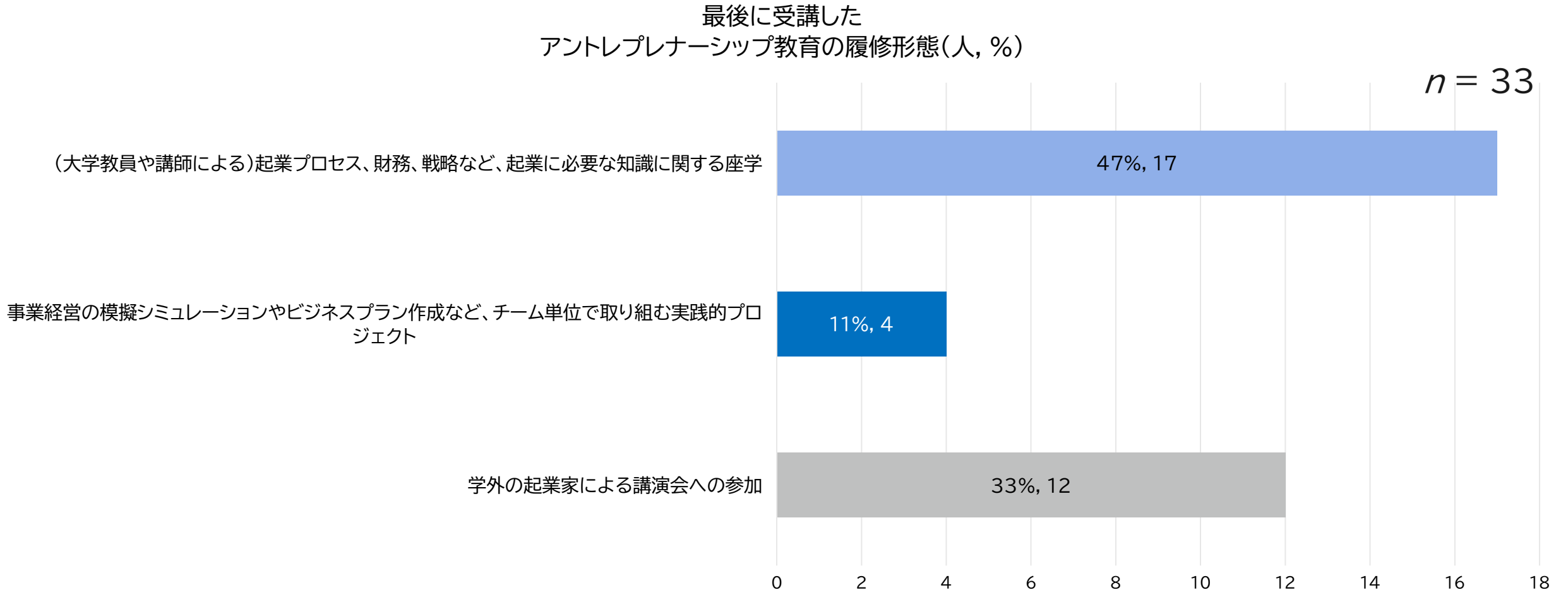
Q16 過去にアントレプレナーシップ教育を受講した方に伺います。
あなたは、これまでこういった形態のアントレプレナーシップ教育を受講しましたか。

■ 最多回答は「座学」22名(受講者中61%)であった。



Q17 前問のうち、最後に受講されたアントレプレナーシップ教育の形態はどれですか。単

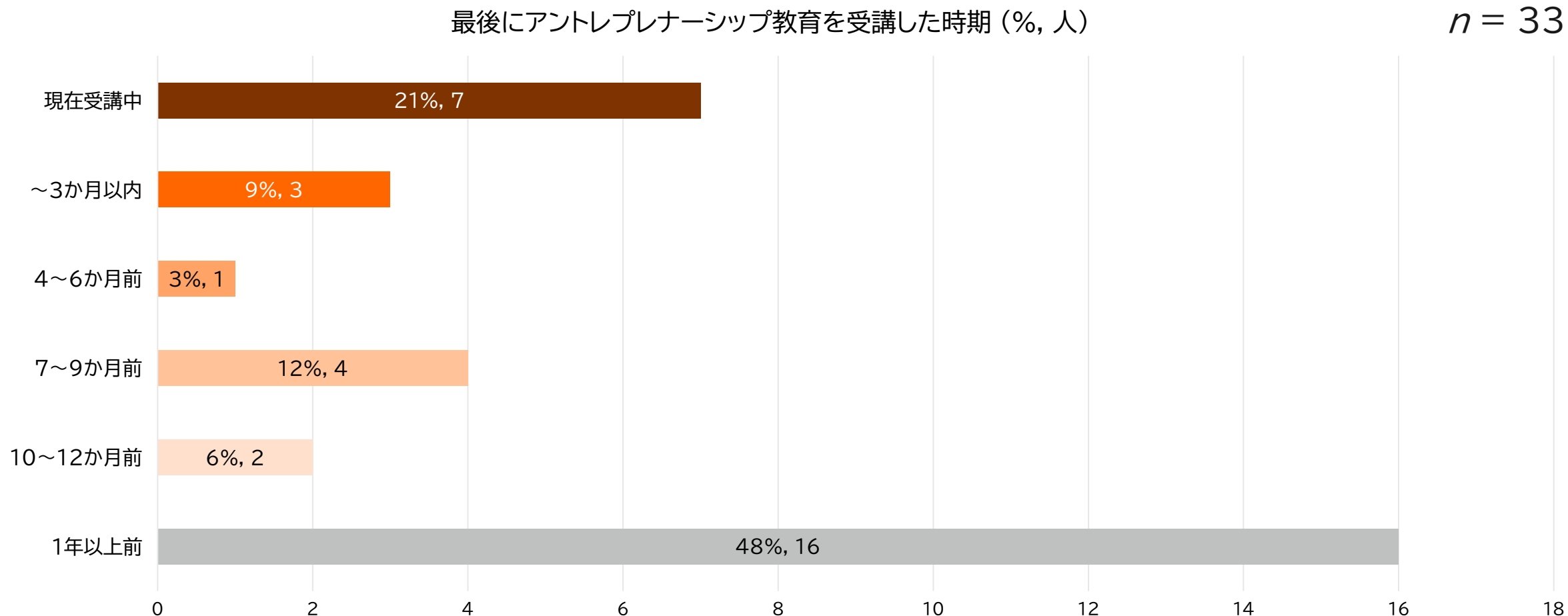
■ 最多回答は「座学」17名(受講者中47%)であった。



Q18 あなたが最後にアントレプレナーシップ教育を受講したのはいつですか。

単

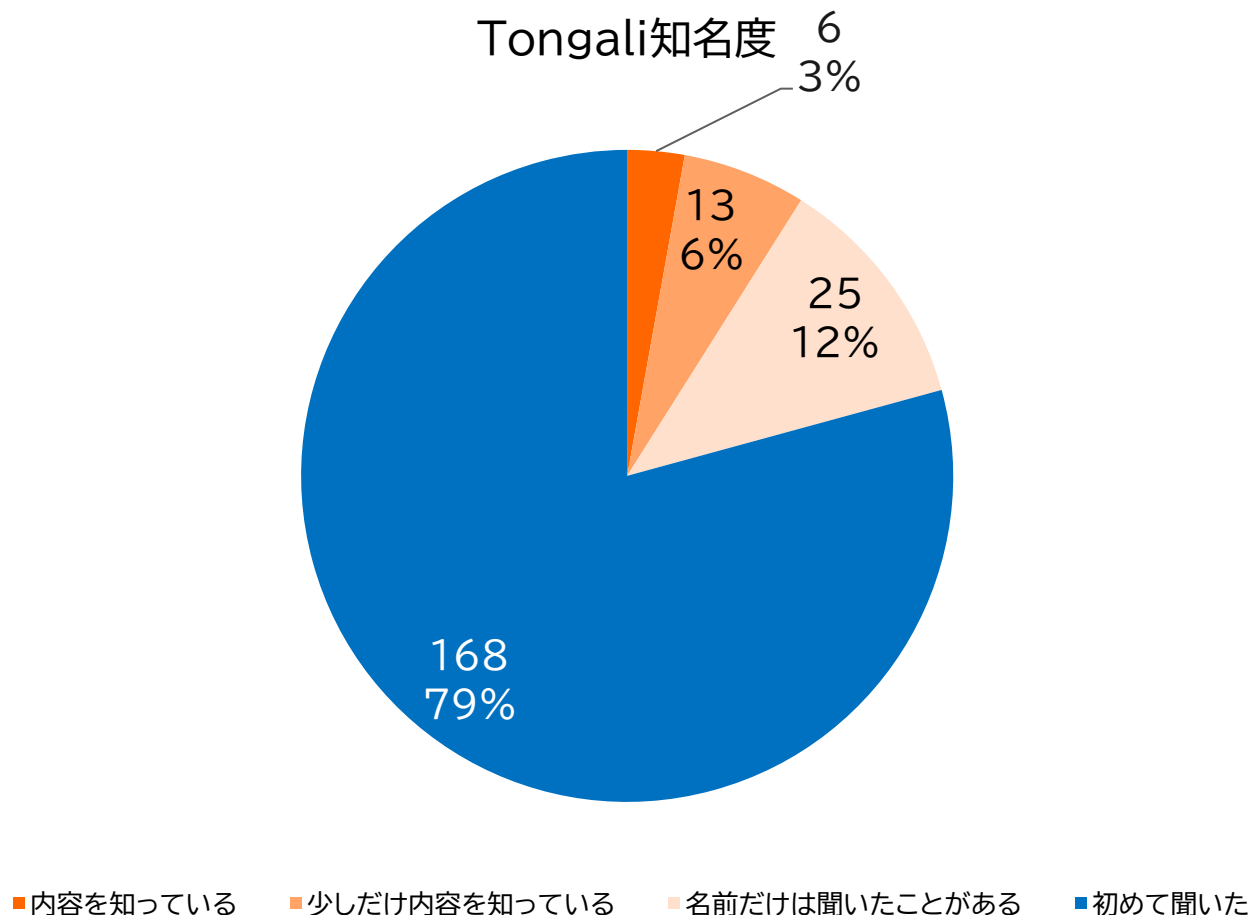
- 最多回答は「1年以上前」16名(受講者中48%)であった。
- 「現在受講中」は7名(受講者中21%)であった。



Q19 あなたは、Tongaliをどのくらい知っていますか。

単

■「初めて聞いた」が168名(79%)であり過半数であった。

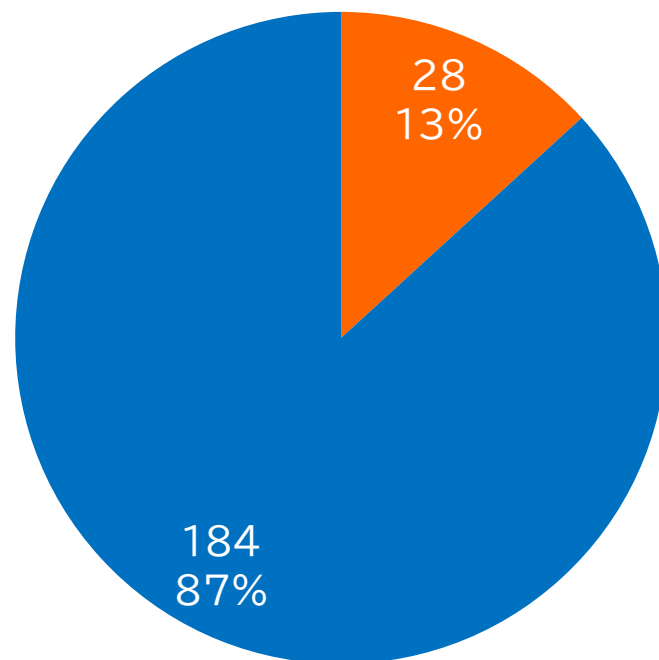


Q20 あなたの所属する大学はTongali参画大学であることを知っていましたか。

単

- 「知らなかった」が184名(87%)であり過半数であった。

所属大学がTongali参加大学であることの認知度

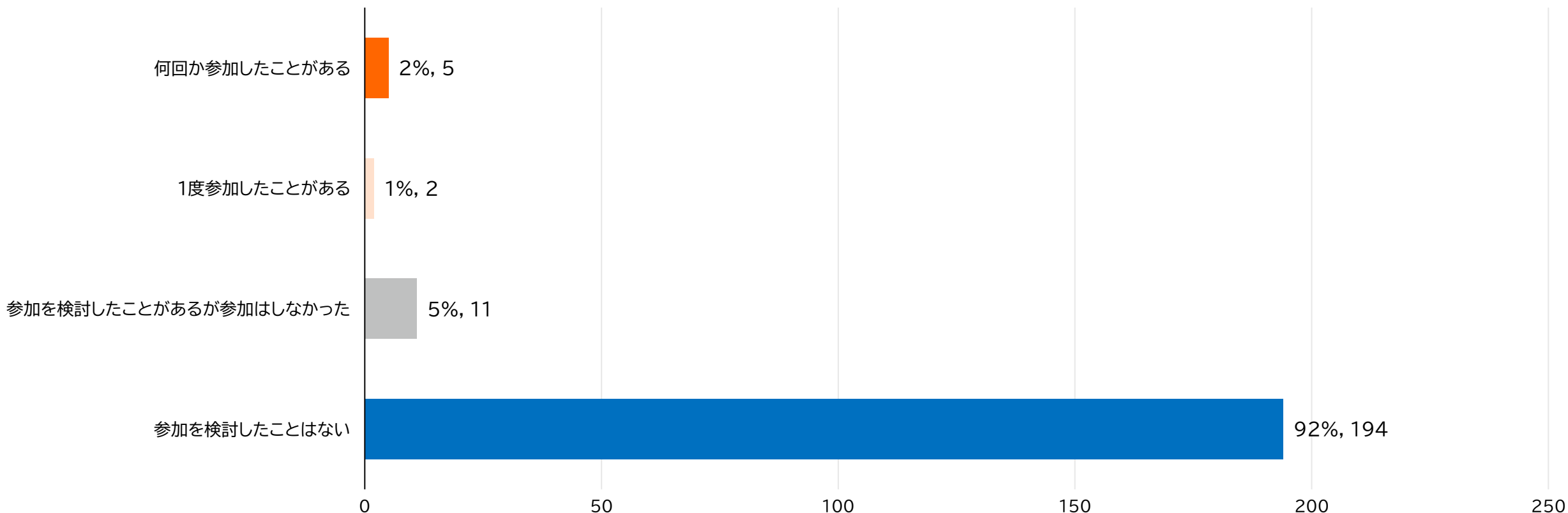


■ 知っている ■ 知らなかった

Q21 Tongaliでは様々なイベント・セミナーを開催しています。 これらに参加したり、参加を検討したことがありますか。

- 「参加を検討したことはない」が194名(92%)であり過半数であった。
- 「参加したことがある」は7名(3%)であった。

Tongaliが実施するイベント・セミナーへの参加経験(% , 人)



Q22 Tongaliプログラムで提供している起業支援メニューを見て、 あなたの気持ちのうち、当てはまるものすべてにチェックをしてください。

- ポジティブな気持ちの最多回答は「おもしろそう」であった。
- ネガティブな気持ちの最多回答は「難しそう」であった。

Tongaliの起業支援メニューを見たときの気持ち（選択割合[%], 人）

